



平成19年度

雲南市成人式

8月14日、三刀屋文化体育館アスパルで平成19年度雲南市成人式が行われ、新成人の新たな門出を祝いました。



式典ではまず、速水雄一市長が式辞を述べ、新成人を祝福しました。式辞の中で市長は、総合計画に挙げているふるさと雲南の5つの恵みや、それらを活用した当市の振興戦略「雲南ブランド化プロジェクト」の取り組みを紹介。同プロジェクトのキーワードである「幸運なんです。雲南です。」の言葉どおり「魅力溢れるふるさとに誇りと愛着をもち、若い力や創造力を今後の雲南市のまちづくり注いでほしい」と激励しました。

な若者を前に、「自然や文化・伝統、人々の絆などが残る雲南市は豊かである。同時に、これこそ真の豊かさであり、守り、受け継いでいかなければならない本物の魅力」と雲南市に対する思いを語り、「みなさんも市内を駆け回り、ふるさとの輝きを再発見してほしい」と将来を担う新成人に、温かな笑顔でメッセージを送りました。



講演される錦織良成監督

これを受け、新成人を代表して周藤司さんがあいさつ。名実ともに成人となると決意を表し、誓いの言葉としました。



祝成人

今年の成人式は昭和62年度生まれの市内の中学校を卒業した567人が対象で、当日は376人が出席。このうち半数は進学等により現在県外で生活しており、帰省しての参加となりました。

新成人たちには、式典終了後に出身町ごとに写した集合写真が記念品として贈られます。

会場では、懐かしい顔ぶれとの再会に、思い出話をしたり、記念写真を撮ったりする新成人の姿が見られました。その様子を紹介します。



新成人代表誓いのことば



これから成人として生きていくにあたり、心の中に秘めていることがあります。それは、自分の考えや意見をしっかりと持ち生活することです。

今までは、他の人の考えや意見に流されてきた部分もあり、それでも周囲の人の支えがあり、ここまで成長してきましたが、これからは我々が「独立自尊」の精神のもと、自分の考えや意見をはっきりと主張し行動していかなければ、一人の大人として厳しい社会の中で居場所を見つけることは困難であると考えます。

そのために「学ぶことを知る」ことも大切なことと考え、自分を謙虚に見つめ直し、書物、学校の先生、会社の先輩、親友から色々なことを学び、自分の考えをしっかりと持った人間になりたいと思います。

今まで大切に育ててくれた家族や心にかけてくださった方に感謝し、多くの恩師、諸先輩に教えて頂いた事を教訓として生かし、自分の意思、夢で作り上げたレールの上をしっかりと歩いて、社会に貢献できるよう頑張っていきたいと思います。

(一部抜粋)

平成19年8月14日

新成人代表

周藤 司